

令和2年度みやぎの地域資源保全活用支援事業概要

【概要】 本事業は、「中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱，要領」に基づき事業を実施しているもので，県において「中山間地域等農村活性化基金条例（平成5年10月15日施行）」基金6.6億円（国1/3，県2/3）を造成し，基金の運用利息を毎年度の事業費としてきた。しかし，利率の低下による運用利息の減少による十分な事業費が確保できないことや土地改良施設等の地域資源を活用した地域活性化のニーズも高まっていることから，基金元本を取り崩して事業費に充当しているもの。

【事業費】 予算額：16,000（15,000）千円（運用益4,572千円 元本取崩額11,427千円 一般財源1千円）

【事業内容】

1 地域資源に係る調査研究事業【7,610千円】

- (1) ふるさと・水と土指導員が行う調査，研究
- (2) ワークショップ等による住民活動支援

2 ふるさと・水と土指導員等研修事業【2,188千円】

地域住民活動の活性化を図る指導員やリーダー等の人材育成・確保のための研修会

3 地域資源の保全活用推進事業【6,202千円】

- (1) 農村振興施策検討委員会の開催
- (2) ふるさと・水と土保全隊の設立及び活動支援
歴史的価値がある施設や環境配慮，親水施設等の地域住民が参画した保全活動等を支援
- (3) 農村コミュニティの活性化による住民活動支援
・農耕儀礼や民族芸能，郷土食等の継承などによる農村コミュニティの維持向上を図る活動等を支援
・東日本大震災による被害が大きい地域における農業生産法人による住民活動支援

4 上記1（2），2，3（2）及び（3）の中で事務所からの提案事業を実施 ※令和元年度より実施

◆提案事業（例）【事務所提案枠 8,500千円（16,000千円の再掲）】
（仙台）親水施設等の保全隊設立及び活動支援
（北部）世界農業遺産「大崎耕土」地域資源調査業務
（気仙沼）地域資源活用マップ作成及びワークショップ支援業務

事務所提案事業選定フロー図

